

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス ファーマが発表しました、「ノバルティス研究財団ゲノミクス研究所」に関するリリースの日本語訳抜粋をご参考までにお届けします。

## ノバルティスがゲノミクスおよびプロテオミクスの最新研究施設を増強

- 新たに 1 億 2,700 万ドルを投入し、研究者 350 人体制 -

### 2002年11月7日、スイス・バーゼル発

ノバルティス研究財団ゲノミクス研究所 (Genomics Institute of the Novartis Research Foundation 以下、GNF: 米国カリフォルニア州サンディエゴ) は、神経変性疾患、代謝系疾患およびがんの画期的な研究を行うために研究施設を増設し、本日から稼働します。

GNFは1999年に、ゲノミクスとプロテオミクスに特化した研究所としてノバルティス研究財団の出資により設立されました。GNFは細胞レベルのゲノミクス/プロテオミクスからコンピナトリアルケミストリー/構造生物学まで、幅広い優れた先進的技術を開発してきました。

ノバルティス研究財団はこのたび1億2,700万ドルを新たに投資し、41万平方フィートの近代的な新研究施設を建設しました。この研究所には350人以上の研究者およびエンジニアがおり、実験科学の世界を画期的に変革しようとしています。GNFは、他に類のない豊富な社内資源に加えて、スクリップス研究所、カリフォルニア大学サンディエゴ校、バーナム研究所、ソーク研究所などに近接する位置にあり、このようなさまざまな分野の社外研究機関と共同研究する機会に恵まれています。

ノバルティスの会長兼 CEO ダニエル・バセラは、「GNFはノバルティスの創薬研究において重要な部分を占めています。ノバルティスはこれまで、革新的な新薬でリードし続けることに、努力を惜しまないと言い続けてきました。GNFは、患者さんの苦しみをやわらげ、病気を治療することに、今後とも多大な貢献をしてくれることでしょう」と述べました。

研究所が開発したさまざまな技術により、1日に何千もの遺伝子やタンパク質が研究できるようになります。それに伴い、新規医薬品の創製プロセスが加速化され、研究に対する将来の見通しが飛躍的に高まります。ここで行われる研究の成果は、神経変性疾患や代謝系疾患およびがんなどの治療薬の開発に活用されます。

GNFは、独立した研究を可能にする環境が整った研究センターとして、ノバルティス研究財団の出資により設立されました。GNFの研究者はこの研究所で画期的な研究を行い、各分野で非常にインパクトのある論文を発表しています。

\* \* \*

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-F をご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの2001年度の売り上げは320億スイフラン(約2兆2,400億円)、研究開発には約42億スイフラン(2,940億円)を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約74,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧下さい。